

5 規約

栃木県後期高齢者医療広域連合規約

平成19年1月29日

栃木県指令市町村第864号

(広域連合の名称)

第1条 この広域連合は、栃木県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）という。

(広域連合を組織する地方公共団体)

第2条 広域連合は、栃木県内の全市町（以下「構成市町」という。）をもって組織する。

(広域連合の区域)

第3条 広域連合の区域は、栃木県の区域とする。

(広域連合の処理する事務)

第4条 広域連合は、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号。以下「高齢者医療確保法」という。）に規定する後期高齢者医療制度の事務のうち、次に掲げる事務を処理する。ただし、各号の事務のうち、別表第1に定める事務については、構成市町において行う。

- (1) 被保険者の資格の管理に関する事務
- (2) 医療給付に関する事務
- (3) 保険料の賦課に関する事務
- (4) 保健事業に関する事務
- (5) その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務

(広域連合の作成する広域計画の項目)

第5条 広域連合が作成する広域計画（地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第3項の広域計画をいう。以下同じ。）には、次の項目について記載するものとする。

- (1) 後期高齢者医療制度の実施に関連して広域連合及び構成市町が行う事務に関すること。
- (2) 広域計画の期間及び改定に関すること。

(広域連合の事務所の位置)

第6条 広域連合の事務所は、宇都宮市内に置く。

(広域連合の議会の組織)

第7条 広域連合の議会の議員(以下「広域連合議員」という。)の定数は、34人とする。

2 広域連合議員は、構成市町の長又は議員により組織する。

(広域連合議員の選挙の方法)

第8条 広域連合議員は、構成市町の長又は議員のうちから、各構成市町の議会において、別表第2左欄に定める区分に応じ、同表右欄に掲げる人数を選挙する。

2 構成市町の議会における選挙については、地方自治法第118条の例による。

(広域連合議員の任期等)

第9条 広域連合議員の任期は、当該構成市町の長又は議員としての任期による。

2 広域連合議員が構成市町の長又は議員でなくなったときは、同時にその職を失う。

3 広域連合の議会の解散があったとき、又は広域連合議員に欠員が生じたときは、前条の規定により、速やかにこれを選挙しなければならない。

(広域連合の議会の議長及び副議長)

第10条 広域連合の議会は、広域連合議員のうちから議長及び副議長1人を選挙しなければならない。

2 議長及び副議長の任期は、広域連合議員の任期による。

(広域連合長等)

第11条 広域連合に、広域連合長、副広域連合長及び会計管理者(以下「広域連合長等」という。)を置く。

2 広域連合長及び副広域連合長は、広域連合議員と兼ねることができない。

(広域連合長等の選任等の方法)

第12条 広域連合長は、構成市町の長のうちから、構成市町の長が投票によりこれを選挙する。

2 前項の選挙は、第15条の選挙管理委員会が定める場所において行うものとする。

3 広域連合長が欠けたときは、速やかにこれを選挙しなければならない。

4 副広域連合長は、構成市町の長のうちから、広域連合長が広域連合の議会の同意を得てこれを選任する。

5 会計管理者は、構成市町の会計管理者のうちから、広域連合長が任命する。

(広域連合長等の任期等)

第13条 広域連合長及び副広域連合長の任期は、構成市町の長としての任期による。

2 会計管理者は、当該構成市町の会計管理者でなくなったときは、同時にその職を失う。

(補助職員)

第14条 第11条に定める者のほか、広域連合に必要な職員を置く。

(選挙管理委員会)

第15条 広域連合に選挙管理委員会を置く。

2 選挙管理委員会は、4人の選挙管理委員をもってこれを組織する。

3 選挙管理委員は、構成市町の選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な識見を有するもののうちから、広域連合の議会においてこれを選挙する。

4 選挙管理委員の任期は、4年とする。

(監査委員)

第16条 広域連合に監査委員2人を置く。

2 監査委員は、広域連合長が、広域連合の議会の同意を得て、人格が高潔で、地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた識見を有する者(次項において「識見を有する者」という。)及び広域連合議員のうちから、それぞれ1人を選任する。

3 監査委員の任期は、識見を有する者のうちから選任されるものにあつては4年とし、広域連合議員のうちから選任される者にあつては広域連合議員の任期による。ただし、後任者が選任されるまでの間は、その職務を行うことを妨げない。

(広域連合の経費の支弁の方法)

第17条 広域連合の経費は、次に掲げる収入をもって充てる。

- (1) 構成市町の負担金
- (2) 事業収入
- (3) 国及び県の支出金
- (4) その他

2 前項第1号に規定する構成市町の負担金の額は、別表第3により、広域連合の予算において定めるものとする。

(補則)

第18条 この規約の施行に関し必要な事項は、広域連合長が規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成19年2月1日から施行する。ただし、第11条から第13条までの規定中会計管理者に関する部分については、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成20年3月31日までの間は、第4条に規定する事務の準備行為を行うものとする。
- 3 広域連合設立後初めて行う広域連合長の選挙においては、第12条第2項の規定にかかわらず、宇都宮市内において行うものとする。
- 4 広域連合に係る会計事務については、平成19年3月31日までの間は、広域連合長が兼掌する。
- 5 平成19年3月31日までの間は、第14条中「職員」とあるのは、「吏員その他の職員」と読み替えるものとする。
- 6 平成19年度及び平成20年度の構成市町の負担金については、別表第3中「高齢者医療確保法に基づく後期高齢者医療の被保険者割」とあるのは、「老人保健法に基づく老人医療受給対象者割」と読み替えて適用するものとする。

附 則

この規約は、平成19年3月31日から施行する。

附 則

この規約は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成21年3月23日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年3月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成23年10月1日から施行する。

別表第 1（第 4 条関係）

- 被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
- 被保険者証及び資格証明書の引渡し
- 被保険者証及び資格証明書の返還の受付
- 医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
- 保険料に関する申請の受付
- 上記事務に付随する事務

別表第 2（第 8 条関係）

市又は町の人口	議員定数
100,000人以下	1人
100,001～300,000人	2人
300,001人以上	3人

別表第 3（第 17 条関係）

○共通経費

	負担割合
均等割	10%
高齢者医療確保法に基づく後期高齢者医療の被保険者割	40%
人口割	50%

○医療給付に要する経費

高齢者医療確保法第 98 条に定める市町の一般会計において負担すべき額

○保険料その他の納付金

高齢者医療確保法第 105 条に定める市町が納付すべき額

市町が徴収した保険料等の実額及び低所得者等の保険料軽減額相当額

○保健事業に要する経費

高齢者医療確保法第 125 条の規定に基づき実施する保健事業において、市町と広域連合が国の補助基準、市町における事業実績等を勘案して定める額に健康診査を受診した者の数を乗じて得た額

## 第1章 広域計画の概要

### 1 広域計画の趣旨

栃木県後期高齢者医療広域連合広域計画（以下「広域計画」という。）は、後期高齢者医療制度の運営主体である栃木県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）が行う事務を総合的かつ計画的に行うため、広域連合及び広域連合を組織する栃木県内全市町（以下「構成市町」という。）が相互に役割を分担し、連絡調整を図りながら処理する事項等について定めるものです。

### 2 広域計画の項目

この広域計画では、栃木県後期高齢者医療広域連合規約第5条の規定に基づき、次の項目について記載します。

- (1) 後期高齢者医療制度の実施に関連して広域連合及び構成市町が行う事務に関すること。
- (2) 広域計画の期間及び改定に関すること。

### 3 広域計画の構成

この広域計画は、基本方針及び基本計画から構成されています。

基本方針とは、広域連合の行政運営の基本となるものです。

基本計画とは、基本方針を受け、栃木県後期高齢者医療広域連合規約第5条に規定されている項目について、具体的な計画を示すものです。

### 4 広域計画の期間及び改定

広域計画の期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間とし、その後は5年を単位とし、見直しを行います。

ただし、社会情勢の変化等により見直しの必要があるときは、議会の議決を経て、随時改定を行います。

## 第2章 基本方針

広域連合は、構成市町と連絡調整を図り、住民の意向や利便性に十分配慮しながら、広域連合のスケールメリットを活かすことで、健全かつ円滑な行政運営を進めていきます。

### 1 効率的・効果的な事業運営

広域連合と構成市町との事務分担及び密接な連携のもとに、随時事務処理を見直し、効果的・効率的な事業運営を進めます。

また、構成市町からの計画的な職員派遣によって、安定した事務執行体制を確保し、法令に基づく適切な事務処理を行っていきます。

### 2 保険者機能の強化と財政の安定化

後期高齢者が必要な医療サービスを受けられるよう適切な制度の周知を行うとともに、引き続き医療費の伸びが予想される中で、保健事業の推進を含め保険者機能の発揮に努め、医療費の適正化に取り組みます。

また、保険料の適正な賦課徴収を行い、財政基盤の強化と運営の安定化を図ります。

## 第3章 基本計画

後期高齢者医療制度の健全かつ円滑な運営を図るため、広域連合が行う事務と構成市町が行う事務を次のとおりとし、それぞれが密接に連携することで、事務の効率化を進めていきます。

### 1 広域連合が行う事務

広域連合は、後期高齢者医療制度の事務のうち、構成市町と連携し、次に掲げる事務を処理します。

#### (1) 被保険者の資格の管理に関する事務

被保険者台帳により被保険者資格情報を管理し、被保険者資格の認定（取得及び喪失の確認、65歳以上75歳未満で一定の障がいのある方に対する被保険者認定）、被保険者証及び資格証明書等の交付決定等を行います。

## (2) 医療給付に関する事務

被保険者に対して、次の後期高齢者医療給付の支給決定を行います。

- 療養の給付並びに入院時食事療養費、入院時生活療養費、保険外併用療養費及び療養費、訪問看護療養費、特別療養費並びに移送費
- 高額療養費及び高額介護合算療養費
- その他広域連合で定めるところにより行う給付

## (3) 保険料の賦課に関する事務

構成市町が保有する課税情報等の提供を受けて、保険料率の決定、保険料の賦課決定や減免の決定、徴収猶予の決定等を行います。

## (4) 保健事業に関する事務

構成市町と緊密に連携して、後期高齢者の心身の特性や生活実態等に応じた保健事業を行います。

## (5) その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務

構成市町と緊密に連携して、後期高齢者医療制度に関する広報、住民からの相談、問合せの対応を行います。

また、ネットワーク等の整備により、構成市町と情報の共有化を図ります。

## 2 構成市町が行う事務

### (1) 保険料の徴収に関する事務

後期高齢者医療制度に係る保険料の徴収や滞納整理を行います。

### (2) 広域連合が行う事務のうち、構成市町が行う事務

1において広域連合が行うこととなっている各事務のうち、次に掲げる事務については、住民の利便性に配慮し、構成市町が行います。

- ア 被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
- イ 被保険者証及び資格証明書の引渡し
- ウ 被保険者証及び資格証明書の返還の受付
- エ 医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
- オ 保険料に関する申請の受付
- カ 上記事務に付随する事務

